

筑心

chikushin

筑心会
vol.30
2020 JULY
令和2年7月15日発行

温故
Chikushi High School Alumni Association
筑心
www.chikushin.net
発行 福岡県立筑紫高等学校
同窓会 筑心会

今回は最後の紙版会報誌になります

www.chikushin.net



LINE

HP



そしてWEBへ

在校生のために私たちができること

筑心 chikushin vol.30 2020 JULY 令和2年7月15日発行



陸上部

私たち陸上部は、水上先生、笠原先生、甲斐先生のご指導のもと日々練習しています。陸上部は男女の仲が良く、活気が溢れる部活です。多くの仲間と切磋琢磨しながら、個々の目標達成のために努力しています。
私たち3年は最後のインターハイ予選になるので、周りで支えてくださっている方への感謝の気持ちを忘れずに、先輩方の素晴らしい記録を越えられるように最後の1秒まで諦めずに頑張ります。応援の程よろしくお願いたします。



茶道部

私たち茶道部は、顧問の高田先生・砥上先生のもと、3年生4名、2年生10名の計14名で、週に3回活動しています。また水曜日には裏千家の原先生に直接ご指導いただき、お点前の作法や心構えなどを教えていただいています。
大きな行事としては、6月に行われる「筑紫祭」でのお茶会、交流校であるオーストラリアの「ギズボーン校」が来校されたときの「茶道体験」、11月に実施される「針摺東公民館文化祭」でのお茶会実施などがあります。
これからも「茶道」の習得を目指すことはもちろん、日本文化全体にも目を向け、身につけられるよう、精進していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

在校生のいま 筑紫トピックス 卒業生はいま

宮本 啓丞 氏 15期
KBCアナウンサー

アサデス。でお馴染み 福岡の朝の顔のアナウンサー



筑紫高校では放送部に所属していました。アナウンサーを目指していたかという、そういう訳でもありません。当時の僕は、マイクを通して自分の声が全校に伝わっていく楽しさとか、日本語のルールに従って言葉を音読する面白さをただ感じるばかりで、将来に対する明確なビジョンなど欠片も持ち合わせていませんでした。あ、ひとつだけ今に繋がったのかもしれない出来事があります。

学校行事の放送は設営からアナウンスまでを放送部が担当していました。体育祭の進行も放送部員が手分けしてアナウンスします。式次第の読み上げとか、出し物の紹介とか、あらかじめ決まった文章を読み上げればよい訳ですが、部活動対抗リレーに差し掛かった時、放送テントの隣の体育教官テントから大きな声が、「宮本！実況せれ！！」これは大変なことになりました。実況などしたこともない僕が全校生徒の前で大恥をかくのか。実況なんかできまないと断って先生たちの不興を買うのか。前門の虎、後門の狼です。逡巡の間もなく、僕は狼を避けることを選び、目の前で起きる全てのことを一心不乱にマイクにぶつけました。わりとウケましたよ。必死でしたから。思えばこれが原体験です。アナウンサーになった後も、あれほど緊張したことはありません。当時の筑紫高校の校風は、僕によく合っていたと思っています。先生は厳しいけれど、生徒はのんびり。派手さは無いけれど、地味に明るい。成績がいいヤツでもエリート意識は無かったし、落ちこぼれても卑屈じゃなかった。凡庸な僕がいい意味でとても普通の人たちに囲まれて過ごせた幸せな時間でした。
毎朝カメラの前に立つとき、どこまでも一生活者であることを忘れないようにしています。どこにいてももうなおっさんキャスターでいたいな、と。なんだか筑紫高校OBっぽくて、いいでしょ。そう思いませんか？

伊藤 優希 さん 40期
女子ラグビー日本代表

五輪、そしてその頂点を目指す SAKURASEVENSの筑紫ラグール



私は筑紫高校でラグビーを始めました。その後、日本体育大学に進学し、現在は三重県にあるクラブチーム(PEARLS)に所属し、7人制ラグビー日本代表候補として、東京オリンピックを目指して活動しています。
日本代表として世界を相手に戦うことは簡単ではありません。しかし、筑紫高校に在学していた3年間で培った「忍耐力」を活かして、大きな壁に直面したときでも諦めず乗り越えることができます。
高校時代は、自分が日本代表としてプレーすることが出来るとは思ってもいませんでしたが、コツコツと積み上げてきた小さな努力が今に繋がっていると思います。無駄だと感じるような小さなことでも、必ず意味があるので目の前の事に、ひとつひとつ向き合っていくことが大切だと思います。
コロナウイルスの影響で東京オリンピックは延期となってしまいましたが、筑紫高校の卒業生として誇りを持って、更に成長した姿を皆さんにみただけのように頑張ります。応援よろしくお願いたします。

筑紫高校教諭として、男女バレー部OB会の牽引役として、そして同窓職員として筑心会でも御尽力いただいた13期生の明神恭子さんが2020年6月15日に永眠されました。謹んで感謝すると共に哀悼の意を表します。 筑心会 一同

ご挨拶

翔ぶ筑紫、学ぶ筑紫



名誉会長(学校長) 松尾 隆一

福岡県立筑紫高等学校同窓会「筑心会」広報誌「筑心」第30号の発行を心よりお祝い申し上げます。また、平素より筑心会の皆様には、本校の教育活動に対し物心両面にわたる御支援を賜り、深く感謝申し上げます。昨年度は同窓会のご支援により、「翔ぶ筑紫、学ぶ筑紫」のポスターを作成、また中学3年生全員に学校案内を配布するなど、積極的な広報活動を展開することができ、心より感謝申し上げます。

「新型コロナウイルス感染症防止」のための学校休業が2か月以上も続き、この前代未聞の状況を取りこぼさず、生徒も職員も「今できることは何か」を考えながら、日々全力を尽くしていただいております。本校は今年で創立48年目を迎えます。創立当初からの建学の精神が今まさに試されていると感じています。「師弟同行(どうぎよう)」の校是のもと、生徒と教師がともに力を合わせて、この難局を乗り越えていく覚悟です。

「翔ぶ筑紫」になつていくために、昨年度より生徒の学びを変えるための取り組みを進めています。昨今の教育改革では「学びに向かう力」が重視されています。21世紀を担う若者たちに必要な資質・能力として、正解のない問いに対して「最適な解」を考え抜く力と、多様な考えを持つ仲間と協働して新しい考え方を生み出す力が不可欠であると言われています。グローバル化が進み、諸外国の活

気あふれた若者と対等に渡り合える人材の育成が日本の重要な教育課題になっており、生徒のハートに火をつける取り組みを続けていく予定です。

生徒に大きな志を持たせることを目的とした海外修学旅行や九州大学と連携したアカデミックツアーは今年の活動の大きな目玉でしたが、残念ながら今年度は見送りととなります。夏までには同窓会の支援も受けた校内wifi環境の整備が完了しますので、これを活用した授業をはじめとする様々な教育活動を充実させていきます。そのひとつとして課外授業での「オンライン英会話」の導入を予定しています。またこの休業期間中に生徒の学習支援の取り組みとして開始した授業動画の配信なども、通常の授業を補完するシステムとして活用していく予定です。また世界で活躍する方々の話を直接聞かせることで生徒の心に火をつける講演会等を実施していく予定です。

昨年度は小型人工衛星を開発しているベンチャーのQPS研究所に講演をお願いしました。毎春秋に合わせて同窓会にお力添えいただいておりますOB講演会も大いに期待しているところでです。

進学面では、地元の九州大学をはじめ、多くの国立大学や私立大学に合格を果たしています。自分にとっての「最難関」にチャレンジすることは、心の成長に大きな意味があります。筑紫生は、このころは自分の第三志望を譲らず、国立大学の後期入試まで頑張つて合格を勝ち得る生徒が多いところだと思います。この粘り強さは社会に出たときにその真価を発揮することにつながります。「文武両道」をおとせようという粘り強さを、これからも変らぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。結びに、筑心会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。御挨拶いたします。

第44回筑心会懇親会報告

筑紫高校同窓会の皆様、昨年は第44回筑心会懇親会に多数のご参加をいただき、誠に有難うございました。ご来賓の皆様、お世話になりました。先生方をはじめ、全国より261名の同窓生の皆様にご参加いただき、また多方面より多くのご協賛をいただき、盛会のうちに終わることができました。23期の当番幹事を代表して心より厚くお礼申し上げます。

第44回筑心会懇親会は、3期、13期、23期中でも当番幹事である23期は100名出席を目標に掲げ、101名の参加。当時の恩師の方々にも多数出席いただき、22年振りの尽きない思い出と共に、改めて感謝の言葉も伝えることができました。卒業後にあう仲間とも一瞬で打ち解け、終始笑顔の絶えない盛大な懇親会が開催されました。幹事メンバーのほとんどが過去懇親



会に参加したことがない中、このような会が無事開催できたのは、準備段階から当日まで理事会の皆様をはじめ、多くの諸先輩方のお力添えのおかげであり、新聞出稿に快く賛同いただいた方々、不安な23期幹事メンバーを親身になってサポートいただいた22期の幹事メンバーの皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。今年度の筑心会は残念ながらコロナの影響で中止になりましたが、中止の判断に至るまで24期のメンバーが一生懸命準備を進めていたという事実があります。来年、2年振りの45回筑心会は昨年の令和元年の記念の年より更に盛大なものになると思っております。皆様と再び元氣な姿でお会いできるのを楽しみにしています。

令和元年度 当番幹事 同

未曾有(今まで一度もなかったこと)



同窓会・筑心会会長 井上 正満

筑心会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、本年も恒例となっております筑心会(同窓会)懇親会を8月に開催するよう準備を進めておりました。しかし4月7日、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、政府から緊急事態宣言が発出され福岡県と6都府県を対象区域に指定し、16日には全国に拡大しました。5月14日には福岡県を含む39県を対象解除となりましたが、事態の収束は未だ不透明である状況です。同窓会理事会において検討した結果、誠に残念ではありますが、令和2年度は筑心会懇親会を中止することとしました。筑心会では、08年の「リーマンショック」の余波から大幅な景気後退を招いたときに、皆さんからの寄付を原資にした給付型の奨学金制度を創設し毎年授与しております。今回のコロナ禍は世界経済や我々の生活には勿論、在校生の学習にも甚大な影響を及ぼしています。そこで従来の奨学金とは別に緊急奨学金を設立しました。皆さんにとっても大変な時期かと思いますが、是非とも寄付にご協力をお願いします。今後も引き続き、同窓会として在校生のために私たちが出来ることを考えまします。

昨年の会長就任の挨拶でも触れましたが、毎年送付しております会報「筑心」は発行開始から30年が経ち本年度を最後に紙媒体としての発行を終了させていただきます。今後には懇親会の案内、告知、報告等はWeb上で行うように考えております。ぜひ、この機会に新しいホームページを閲覧いただきますようお願いいたします。2年後の令和4年には創立50周年を迎えます。本筆ではございませんが、くれぐれも健康にはご留意ください。今後とも筑紫高等学校を応援してください。よろしくお願いいたします。

第45回筑心会懇親会延期のお知らせ

8月10日に西鉄グランドホテルで開催する予定で進めていました恒例の筑心会懇親会は新型コロナウイルス感染症予防の観点から本年度の開催を中止とします。当番幹事は来年も引き続き24期を中心とした4・14・34・44期生が担当します。来年こそは元気で皆さんと会えることを楽しみにしています。

会報「筑心」電子化についてのお知らせ

来たる2021年度より、会報「筑心」は紙版での郵送を終え、筑心会ホームページへの電子版での掲載となります。会報「筑心」は、今年で30年目を迎えました。この間に筑心会会員数も18000名を超えるに至り、印刷代や送料の負担も重くなって参りました。また、毎年の新会員(卒業生)の加入と会員の長寿化を考えますと筑心会予算において、会報「筑心」の費用は長期に渡り増加する事となり、このままでは筑心会の存在意義、即ち、「在校生のために私たちができること」の根幹を為す母校支援関連予算を圧迫する事となります。そこで、筑心会では社会的要請でもあるSDGsの観点も踏まえ、会報「筑心」の電子化を進める事にした次第です。なお、会報は今後、筑心会ホームページで閲覧いただく事となりますが、皆様に向けて「会報掲載」や「懇親会開催」等のお知らせを筑心会ホームページ(www.chikushin.net/)や、LINE、facebook等にて随時発信しておりますので、右記掲載のQRコードやアドレスのご登録をお願いします。

Facebook and Home Page QR codes with labels: フェイスブック, 筑心会ホームページ

恩師往来

- 退職: 嘉村 知久(参事兼事務局長), 鹿子木 一郎(英語)
転出: 野本 準二(教頭), 碓山 清生(主事), 西方なお子(理科), 松尾 律子(英語), 田縁 憲昭(保健体育), 野田 大介(理科), 立野龍太郎(保健体育)
転入: 山本美都子(参事兼事務局長), 池添 昌和(教頭), 高山 真一(主事), 彌永 明美(理科), 中村東亜子(英語), 池谷 康佑(理科), 田中 宏典(保健体育), 末川 慶英(理科), 米澤 翔太(保健体育), 松崎 匠悟(英語), 講師: 浩平(英語), 安枝 佳代(音楽), 原口 理恵(書道), 木崎原祥文(生物)

第13回 関東筑心会総会報告

開催日:2019年11月23日(土)
場 所:レストランcafé Regato



← ①講演会
13:30~14:30



← ②懇親会
15:00~17:00

関東で参加するのは3回目ですが、期をまたがった有志で運営されていて、アットホームな感じがとても気に入ります。隣の違う期のテーブル同士が盛り上がる姿も毎度のこと、ひとりで参加しても新しい友だちができるので、毎回楽しみにしています。豪華景品を集めての抽選会や、流れて待たせずに始まる2次会など、みんなが楽しめるようにとても工夫されていて、また次回も必ず参加しようと思えました。幹事のみなさん、いつもありがとうございます。
(在京12期生)



← ③二次会
17:30~



今回はじめて関東筑心会の講演会、懇親会に参加させていただきました。関東で二年に一度開催されているというのうかがっていたのですが、福岡にいと機会がなかなか。縁がないかと思ったりもしていましたが、東京や関東にいる同期に逢うことができるかもしれないなあと勢いで東京へ(前日、翌日ともに仕事が入っていたので、日帰りでした)。私も同期の仲が良かった友人へ、行くから来ない?と誘えば良かったものの、ついに誘い合うことができず、結局同期に逢うことはできなかったのですが、諸先輩方や年が離れた後輩といろいろと会話や食事を楽しむことができました。筑紫の同窓生という共通項で、新たなつながりを築く貴重な機会になりました。東京の真ん中で、校歌を歌ったとき、嬉しいといいますが、ワクワクしました。次回もし、参加できるならば、同期や部活の先輩、後輩へ声かけをして…と考えています。今度は是非泊まりで…汗
(九州から日帰りで参加した27期生)



令和元年11月23日、渋谷道玄坂のレストランcafé Regatoにて関東筑心会第13回総会を無事盛会のうちに終えることが出来ました。
第12回総会に続いて生憎の天気模様ではありましたが、遠路福岡からご参加いただいた恩師の先生方、ご参加の同窓生の皆様、福岡の筑心会の皆様、関東筑心会の幹事として奔走してくださった皆様、関係してくださった皆様方のお力添えにより致命的と思われるアクシデントも乗り越え、無事に盛会の運びとなりましたことを改めてお礼申し上げます。
また総会初の試み「講演会」を実施するにあたり、城戸先生をはじめラグビー部OBの永田先輩、渡辺先輩、レフェリーの久保さんにはあまたのご協力を賜り、また会場のものへの付加価値をつけていただいたことに敬意を表します。まさに「平成から令和へ」、盛り上がりつつラグビーワールドカップ日本大会の終了直後の熱も冷めやらぬ状態での総会開催というタイミングにも感謝せざるを得ません。

集客も周年時に負けず劣らず、講演会からご参加のほとんどの方は引き続き総会へご参加くださり、わずかながら若い世代も引き入れたのではと感じております。前回から若い世代の同窓生にも参加してもらったことが課題のひとつであり、幹事も本会と同じく輪番制にして参加意識を高めたというコンセプトの元、今回12・13期を中心に準備させていただきました。次回は14・15期を中心に運んでいく道標をうつつらとではあるものを作ることが出来たのではと自負しております。今回の中心幹事は反省点も含めて次期中心幹事へ引き継ぎつつ確実なバトンを渡すこと11サイクルを創ることが中心幹事最後の役割であると認識し、形になるようサポートに努める所存です。
社会的にもただ過剰に消費するだけではなく、サステナブル(持続可能な世の中)が謳われるようになり、その流れで「自然回帰、人間回帰」も顕在化している時代です。更なる総会参加者を募りながらシンプルに筑紫高校という原点に帰り、母校の今後の

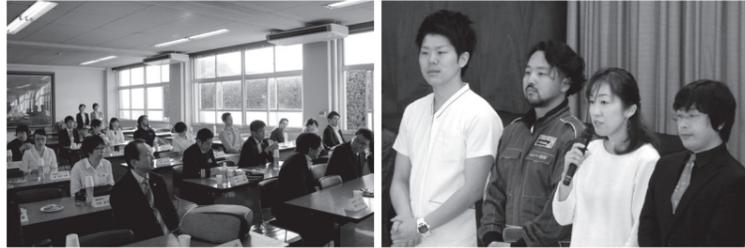
繁栄を願い、また卒業生であることを誇れる会を創り続けることが責務であることは言うまでもなく、今後もハード面より参加しやすい環境をつくる必要性を掲げ、同窓生ならではのネットワークや繋がりも同時に提供できる会でありたいと再認識した次第です。
次の回はどのような会が出来上がるだろうかと期待を胸に、継続してより多くの方々にご参加いただけるよう取り組み、進化する筑心会であってほしいと願っております。
第13回関東筑心会総会幹事長
松野尾晴美(13期生)
同副幹事長
佐藤 浩行(11期生)

開催日:2019年10月26日(土)
場所:筑紫高校(講座数25)

第15回 OB座談会レポート

If & Reality

- ピアノ講師、教員 [2期] チャレンジ
■日本赤十字九州国際看護大学 教授 [3期] どうすれば夢が叶うか!「求めよ、さらば与えられん」
■広告代理店 [5期] あの頃の夢に近づいたために
■精神保健福祉士 [8期] こころの時代を担う仕事
■衛生機器メーカー・営業職 [10期] モノづくりには文系・理系は関係ない
■通信サービス会社経営 [11期] 複数言語を習得する強みと楽しさ、世界観
■日本政策金融公庫 [12期] ニッポンを支える中小企業、99%、320万社
■福岡県職員 [15期] 何が役に立つかなんて分からない
■海上保安庁 [17期] リア充のススメ(当時の片想い失敗経験をふまえて)
■社会保険労務士 [19期] 学生時代の思い出(留学・大学院)
■語学講師 [20期] 日本の中の外国
■Web制作・広告代理店経営 [22期] 広告業とは
■薬剤師 [23期] 薬学部進学・薬剤師ってこんな仕事
■臨床検査技師 [23期] 臨床検査技師とは?
■インターネット・ポータルサイト会社 [23期] 多様化する働き方と働く意味
■管理栄養士 [23期] 人を良くする源
■消防士 [23期] 消防士の仕事
■システムエンジニア・プロジェクトマネージャー [23期] 要求の捉え方と計画の立て方について
■陸上自衛隊 [24期] 国を守る喜び
■同志社大学生命医科学部 准教授 [24期] 遊び心で学問を探索しよう
■看護師 [24期] 医療系に進学・就職を考えている方へ
■海洋研究開発機構職員 [27期] 私人の私がロボットのパイロット?
■看護師 [36期] 看護師になるまでと今
■旅行会社・人事 [36期] これも旅行会社のお仕事です!
■大学4年生(製薬会社) [40期] 進路選びにおける自分の夢からの逆算思考



OB座談会は、私の高校時代にはなかった取り組みです。正直、現役の筑紫生をうらやましいと思うほど素晴らしいものでした。
様々な年代、職種の方が自分の過去を振り返り、失敗も成功もすべて含めて、熱い想いを生徒に伝えていました。資料やプロジェクターの使用、体をつかった講習、実験を取り入れるなど高校生を惹きつける工夫も多く、内容も魅力的でした。
特に印象に残ったのは、失敗を恐れずにチャレンジすることの大切さや、自分が何をしたいのか悩む時期も大切だということ、筑紫高校で学んだあじさつや礼儀、文武両道が社会に出てから役

に立っているということでした。また、働くことは素晴らしいということ、自分の好きなことを仕事にできることは幸せなことだというメッセージもあり、生徒の心に響いたことと思います。
生徒の皆さんも真剣な表情で講師の話聴いていました。自分の進みたい進路が決まっている人にもそうでない人にもきつと得られるものが多く、今後の人生を考える上での貴重な体験となつたと思います。当番幹事のひとりとして聴く側として参加させていただきまして、貴重なお話をたくさん聴かせて頂き、良い経験となりました。ありがとうございました。

「OB 座談会」感想文

対象学年は現3年生(46期生)

講師

5期 広告代理店勤務
同じ高校という共通項だけで、まるで世代の違う「人(生徒)」と「人(元生徒)」がつながり、お互いに刺激を受け合える貴重な時を過ごしました。変わらぬ校舎と教室で、あの頃と同じ制服に身を包む生徒さんとのコミュニケーションは、僕が置き去りにしていた大切な「夢」を思い出させてくれました。

19期 社会保険労務士
留学に関する話なので、昨年は女性が多かったですが、今年は男女比は半々となっていました。学生時代でも海外が身近になってきたんだなと実感しました。

23期 薬剤師
時間配分を間違えて、最後駆け足な話になってしまった。来年準備を整えて再度やらせてください。打ち上げで多職種の話聞いて良かった。

23期 Web営業
初めての参加で時間配分などうまくいかない部分もありましたが、学生と向き合うことで改めて自分の人生を振り返る良い機会になりました。次回もぜひ参加させていただければと思いますのでよろしくお願い致します。

生徒

今日は今の自分の経験が将来すごくためになるということがわかりました。なので、今のうちに色々なことにチャレンジしようと思います。またワークショップもすごくたのしくすることができました。本当にありがとうございました。

私たちには、まだ未知で不安な将来だけけど先輩のお話を聞いて、とても楽しみになりました。進路の話やピアノについての、とてもためになる将来に生かせるようなお話が聞けて充実した50分になりました。

僕は今まで苦手なものを苦手として避けていて大人になったら使いにくくなると思うこともあったけど、未来のことは今の僕には当然わからなくて今やっていることが約二つかわからないので前向きになってみようと思った

職業の話より、ものの考え方や生き方の話を多く聞くことができて面白かったし難しかったです。自分の普段の生活でも生かしていくべきところがあつたので活かしていきたいです。

※感想は原文より抜粋、かなり省略しています。

最近の福岡の高校事情

平成22年度から「公立高校の授業料無償化」となりましたが、生徒が毎月支払う校納金は父母教師会費、生徒会費、修学旅行積立金その他で筑紫高校では毎月約1万円が口座から引き落とされています。平成26年度より、公立・私立ともに家庭の所得に応じて「高等学校等就学支援金」を国から支給するシステムへと変わりましたが諸費用は変わっていません。本年度からは、私立高校向けの就学支援金制度の上限額が引き上げられたため、所得によって実質無償となるケースが出てきます。(もっとも、私立高校には公立同様の諸費用の他、施設充実費等が別途必要です。)

筑紫高校の近くに位置する私立高校は、ICT環境を完備して「特進コース」を設け、大学の受験料や難関大学へ進学した際の授業料を高校が負担するなどの特典を用意し優秀な生徒集めに力を注いでいます。大学進学を目標とした場合、保護者や受験生の高校選択肢は以前とは随分変わりました。筑紫に限らず進学校と言われる公立高校全てが危機感を抱いています。

福岡県はやつと、公立高校にWiFiを設置しICT環境整備に着手しました。しかしながらこれでは十分とは言えず、同窓会では学校の要望にこたえ、標準仕様以上に充実を図るべく支援してまいります。

「筑心会宣言」いま、再び

「私達筑心会は、筑紫高校がいつまでも誇れる母校であり続けるために一丸となって活動しています。」

平成17年8月7日西鉄グランドホテルに於いて開催された総会で「筑心会宣言」は採択されました。

同窓会の予算は在校生の同窓会費と皆さんからの寄付によって賄われています。在校生から預かった費用は在校生のために有効に活用するべきだとの考えから、同窓会懇親会は開催案内を新聞に掲載し、皆様の出稿と参加費で収支を自立させています。また、振込いただいた寄付金と募金箱収入を原資とし、経済的に就学に支障をきたしている生徒に毎年奨学金を給付しています。

今回のコロナ禍による緊急奨学金給付と総会懇親会の中止による収入減少により、来年度以降の奨学金給付も危ぶまれます。今一度、在校生応援のために皆さんのお力をお貸しくください。よろしくお願ひします。

奨学金制度

11年間で89名に419万円を支給

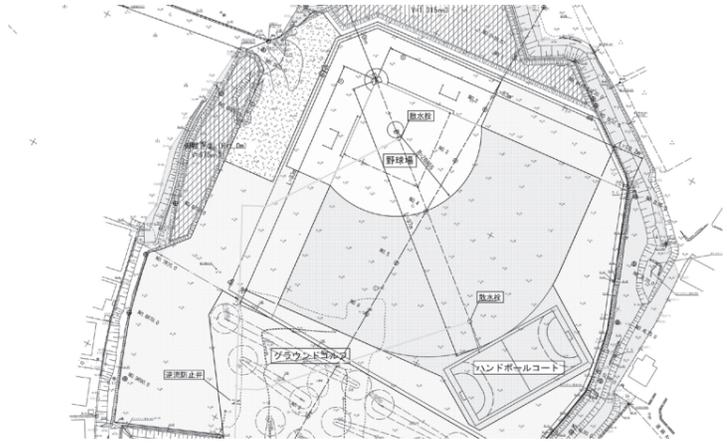
経済的困窮のため就学の継続が困難な生徒とのために給付型奨学金制度を実施しております。



来たれ、野球少年

筑紫野市の山家球場が使用できなくなつてから野球部の練習場確保が難しかったが、なんと筑紫高校専用の野球グラウンドとハンドボールコート整備工事が着工することとなった。場所は本校より南へ約3kmの筑紫野市下見。土地勘のある人なら山家道交差点を筑紫駅方向に曲がったところと言えれば分かるだろう。

完成は来年2月を予定している。飛地に専用グラウンドを持つ筑紫高校で文武両道を実践する生徒を我々は歓迎したい。



OB座談会 講師募集

今年は10月3日(土)開催予定です

「在校生のために卒業生ができることをテーマに在校生へのソフト面での支援の環とて学校と同窓会が共同で実施しているOB座談会も本年度16回目を迎えます。進路選択は高校生活のなかで大きなテーマです。将来への夢や希望を持っている現役生もいます。一方で漠然とした不安を感じながら毎日の学校生活を送っている在校生もたくさんいます。卒業生の皆さんもそれは同じではないでしょうか?この状況を少しでも解消できればとスタートしたのがOB座談会です。社会や家庭の第一線で活躍している筑紫高校の卒業生は1万8千名を超え、その分野も大変バラエティに富んでいます。そんな皆さんが現役の時にどんなことを考えていたのか?どんな悩みがあったのか?どんな業で2年生たちに伝えていたか?などを是非ご自身の言葉で2年生たちに向けていただければと思います。17歳の高校生にとって保護者や先生以外の大人の話を聞くという機会はいくつかはありますが、同じ学校の先輩の話や聞くとどうも心情的なハードルも下がります。今年はコロナウイルスの影響もあり、授業や部活動も例年通りのスケジュールで行うことができておりません。3年生はもうそろそろ全学年の在校生たちも将来に対する漠然とした不安を少しでも解消できるのではないかと思います。47期生のために卒業生の皆さんのご協力をお待ちしております。座談会の詳細お申し込みは筑心会ホームページをご覧ください。

Table with 2 columns: 職業 (Occupation) and 所属 (Affiliation). Includes categories like 公務員 (Public Servant), 教育系 (Education), 政治・法学系 (Politics/Law), etc.